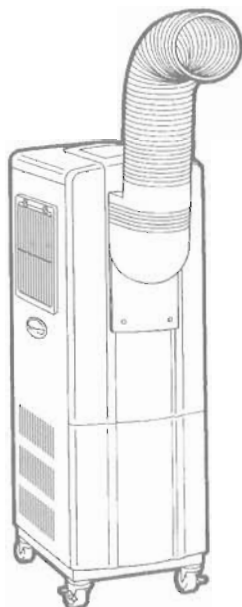
TOYOTOMI 上手に使って上手に節電

トヨトミスポットクーラー

型式 TIDS-A20K
ティアイディーエス エー ケー

（AC100V仕様）

この製品には、
オゾン層を破壊しない
新冷媒HFC（R410A）を
使用しています。

取扱説明書

このたびは本機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を読んで、正しいご使用法でご愛用くださいますようお願い申しあげます。
■この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管しておいてください。
■まちがった使用をされますと、機能を充分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。

この製品は、人を対象としたスポットクーラーです。それ以外の目的・用途には使用しないでください。
この製品は屋外で使用することはできません。屋内あるいは準屋内（屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所）で使用してください。
製品が故障・変形・変色するおそれがあります。

長年ご使用のスポットクーラーの点検をぜひ！

愛情点検

このようなことはありませんか

●コゲくさいにおいがする。電源コード、プラグが異常に熱い。
●運転音が異常に高くなる。
●水漏れがする。
●漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。
●その他の異常や故障がある。

▶ 運転スイッチを停止にし、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

Z04-1

株式会社トヨトミ

8216000710

目　次

安全上のご注意（よく読んで必ずお守りください。）

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠危険(DANGER)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

⚠危険(DANGER)

●異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
また、長年使用された場合、経年劣化により部品に不具合がおこることがあります。その状態で使用を続けますと、事故になるおそれがあります。定期的に点検を依頼してください。お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

⚠警告(WARNING)

●電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。

禁止

●包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する。
誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。

幼児の手の届かないところに保管する

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的に掃除をしてください。

確認

●壁コンセントから延長コードを使用して運転しない。又は他の電気器具と共用しない。
火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。

禁止

●屋内の壁コンセントで２口以上になっていても単独で使用する。交流100V 15A以上のコンセントか確認する。また、他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。
屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。

禁止

⚠警告（WARNING）

●電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物をのせたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしない。
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。

●空気の吹出口や排気口に指や棒等を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。
また感電することもあります。

●電源プラグの抜き差しにより本機の停止をしない。
感電や火災の原因になります。

●安全器のヒューズの代わりに針金や銅線などを使わない。
故障や火災の原因になります。

●異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 に相談する。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●修理は、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 に相談する。
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

⚠注意（CAUTION）

●必ずアースを取る。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、導電性粉塵のある場所では使用しない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。

●本機を使用する場所は、振動のない、水平でしっかりした床面で使用する。
予期せぬ移動や転倒、故障、水漏れの原因にもなります。

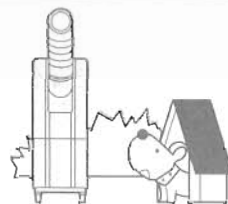
⚠注意（CAUTION）

●長時間、冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない。
特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●火花が飛び散るおそれのある場所での使用は火花よけを用意する。
火花よけがないと内部に火花が入り発火する原因になります。

禁止

●屋外で使用しない。
機器の劣化により、故障や火災の原因になります。

禁止

●押し入れなどせまい場所では、使用しない。
故障や発熱や発火の原因になります。

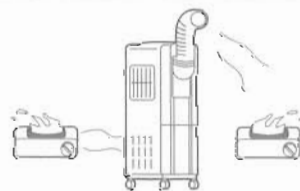
禁止

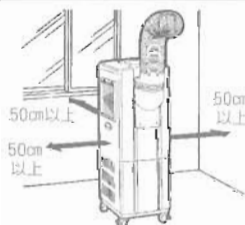
●テレビやラジオなどAV機器や電波時計から1.5m以上離して使用する。
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

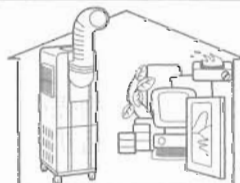
指示

●加工油、防錆油、有機溶剤の雰囲気内で使用しない。
本機を痛めたり、発煙・発火・漏電の原因となります。

指示

●燃焼器具に直接風をあてない。
本機は運転時に前面と背面より風が出ます。
燃焼器具等は直接風をあてますと不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

禁止

●吹出口や排気口の風をさえぎったり、吸込口や空気取入口をふさいだりしない。
風通しが悪くなり、発熱や発火や故障の原因になります。

禁止

●本機は、一般家庭の人を対象とした除湿・冷風機ですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など、特殊用途には使用しない。
本機並びにこれらの品質低下の原因になります。

禁止

⚠注意(CAUTION)

●本機に水をかけたり、水のかかり易い場所（浴室・屋外など）に置いたりしない。また、上に花瓶など水の入った容器をのせない。
倒れて水がこぼれるなど、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、ショート・感電のおそれがあります。

●本機の上に乗ったり、物をのせたりしない。
転倒などにより、けがの原因になることがあります。

●濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

●むやみにボタンを押さない。
故障の原因になります。

●殺虫剤などを吹きつけない。
変色やひび割れの原因になります。

●発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火するおそれがあります。

●湿度が非常に高いとき、「冷風」運転をすると、上面や背面やダクトに露が着き、床に落ちる場合があります。

●本機を移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンタンクの水を捨ててからおこなう。
水がこぼれて床や家財道具を濡らしたり、火災や感電や漏電の原因になります。

●落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

●部屋を閉め切ったり別売の排熱ダクトを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
換気が不充分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

⚠注意（CAUTION）

●**別売の排熱ダクトを取り付けて使用する場合、雨や風が強いときは、運転を停止して窓を閉める。**
室内を雨水で汚すことがあります。

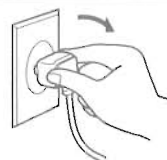
指示

●**金属や樹脂を腐食させるガスや蒸気のある場所、オイルミストが発生する場所や、油が飛び散る場所では使用しない。**
絶縁が悪くなり、感電や発火の原因になります。

禁止

●**フレキシブルダクトを持って移動しない。**
転倒などによりけがの原因になります。

指示

●**手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなう。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。

電源プラグを抜く

●**水洗いしない。**
ショート・感電及び故障のおそれがあります。

禁止

●**本体内部の熱交換器（蒸発器・凝縮器）には指をふれない。**
けがの原因となります。
掃除など、やむを得ず指をふれる場合は、必ず手袋をはめて、注意しておこなってください。

禁止

●**長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。**
ほこりがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

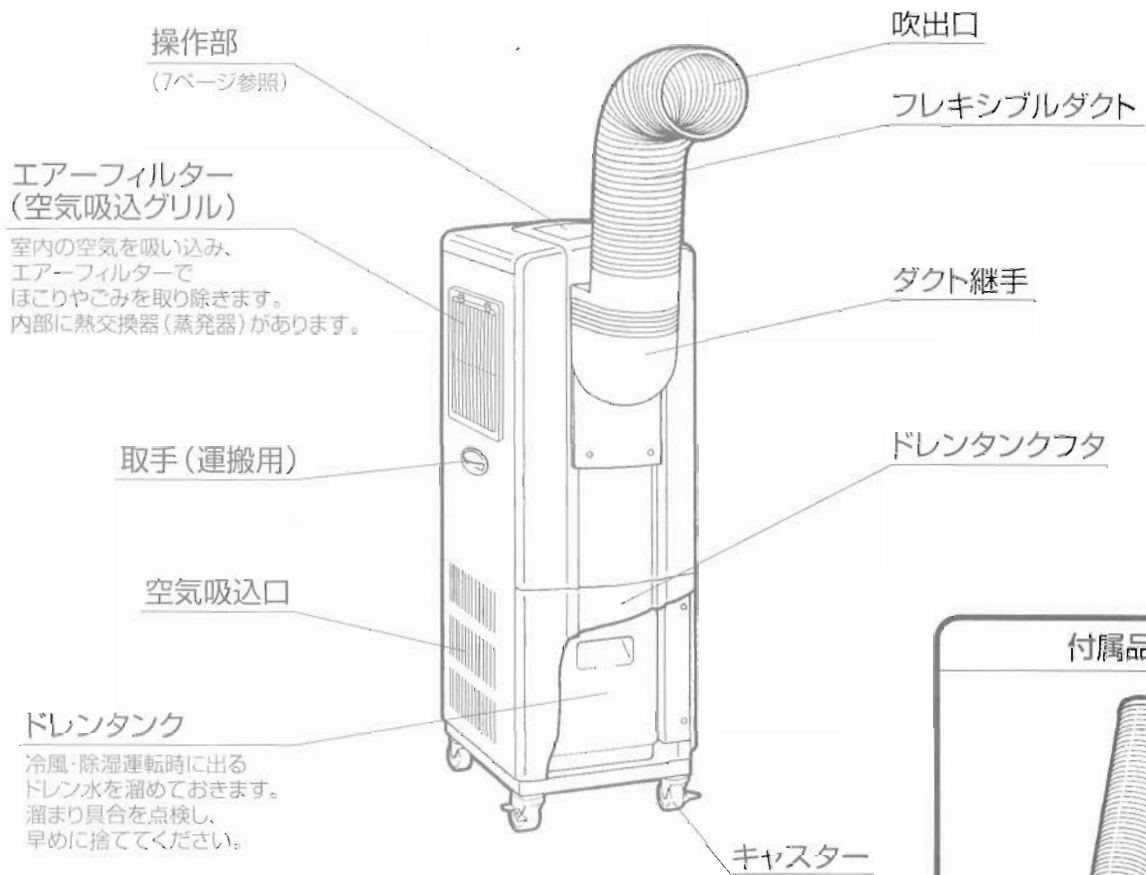
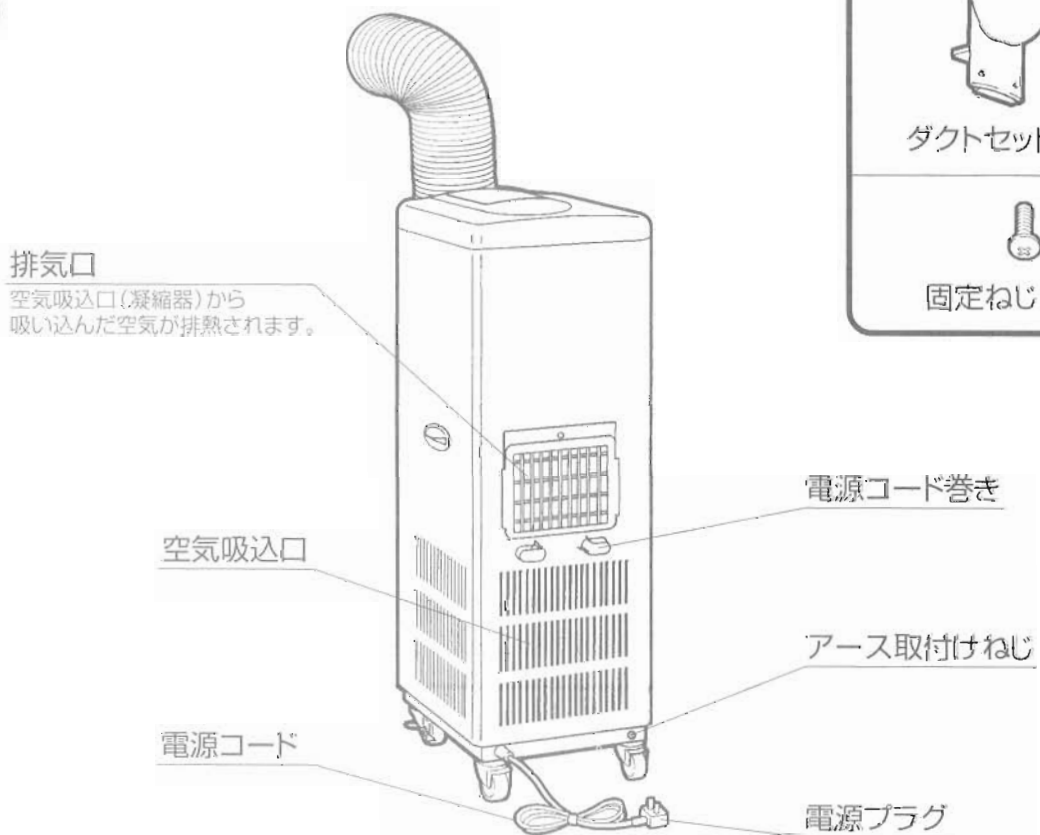
電源プラグを抜く

●**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。**
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。

確認

●**熱交換器（蒸発器・凝縮器）の洗浄には専門技術が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。**
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

禁止

各部のなまえとはたらき

操作部のなまえとはたらき

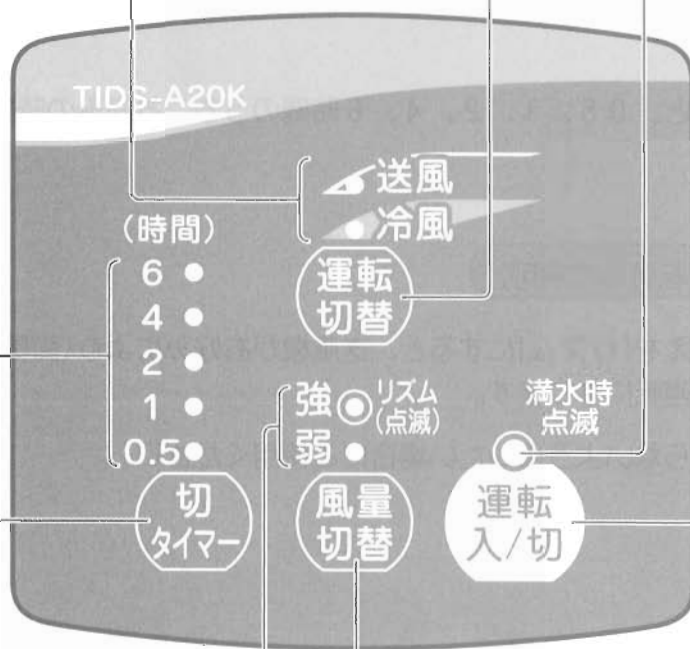
切タイマーランプ
切タイマー運転中の残り時間を表示して「**点灯**」します。

6 ・・・・・・・ 4〜6時間
4 ・・・・・・・ 2〜4時間
2 ・・・・・・・ 1〜2時間
1 ・・・・・30分〜1時間
0.5 ・・・・・・・ 0〜30分

運転状態ランプ
各運転に合わせて、各々の表示ランプが「**点灯**」します。

運転ランプ
運転中は「**点灯**」します。ドレンタンクが満水になると「**点滅**」し、運転を停止します。

運転切替ボタン
押す毎に「**冷風**」→「**送風**」の順に運転が切り替わります。

運転ボタン
ボタンを押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。

切タイマーボタン
切タイマー運転の開始・時間設定・解除をし、消灯→**0.5**→**1**→**2**→**4**→**6**の順に切り替わります。

風量ランプ
風量の状態を表して「**点灯**」します。
★リズム風のときはランプが「**点滅**」します。

風量切替ボタン
押す毎に「**強**」→「**弱**」→「**強リズム**」→「**弱リズム**」と風量を切り替えます。

トヨトミスポットクーラーの機能

冷風運転

●コンプレッサー(圧縮機)により、湿気の少ない冷たい空気を、前面の吹出口より吹き出し、同時に除湿もおこないます。
(背面の排気口からは排熱の為の風が出ますので、必ず窓を開けてお使いください。)

送風運転

●送風機のみの運転となり、前面の吹出口より送風して室内空気の循環をおこないます。

メモリー運転

●一度セットした運転条件(運転モード)は、停電や電源プラグを抜かない限りマイコンに記憶されます。次回からは「運転」ボタンを押すだけです。
(但しタイマー運転の場合は、タイマーセット時間は解除されます。)

切タイマー運転

●切タイマー運転にしますと、0.5、1、2、4、6時間のうち、お好みの時間経過後に運転を停止させることができます。

リズム運転 (送風運転時も使用可)

●冷風運転時に、風量切替えを「リズム」にすると、送風機がお好みにより(強風または弱風)自動的にＯＮ、ＯＦＦを繰り返すリズム運転になります。

●冷風を連続して体に当たらないようにしたい場合にご使用ください。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

本機は冷房機ではありません

●本機は、「冷風」運転の場合は、背面の排気口より排熱の為の風を出す構造ですので、部屋全体を冷房することはできません。

●部屋を閉め切って運転しますと、室温が上昇します。

「冷風」運転中守っていただきたいこと

室温が15～45℃の範囲でご使用ください

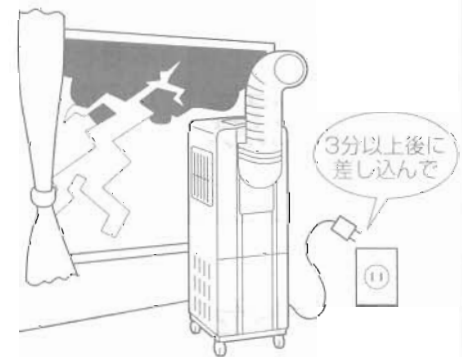
指定の温度範囲外でご使用になると、本機の保護機能が働き、運転を停止することがあります。(12、14ページ参照)

★使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。

停電したり電源プラグを抜いたときは

マイコンが記憶している状態が消去されるため、始めから運転操作をしなおしてください。

再運転は3分以上待ってください

「運転」ボタンで運転を停止させたときや、ドレンタンクが満水になって「運転ランプ」が点滅して運転が停止したときなど、一旦運転を停止させたときは、またすぐ(3分間以内)に「運転」ボタンを押しても運転しません。(送風のみの動作になります。)これは本機を保護するためで、3分経つと運転を開始します。

「冷風」運転しますとドレン水が出ます。

ドレンタンクにドレン水が70～80%溜まると、満水スイッチが働いて「運転ランプ」が点滅し、運転が停止します。

ドレンタンクを取り出して水を捨て、ドレンタンクを元どおりに取り付けてから再度運転してください。

「運転ランプ」が点滅後、3分以上待ってから「運転」ボタンを押し、一旦「運転ランプ」を消灯させてから、もう一度「運転」ボタンを押して、運転を再開してください。

運転前の準備

1 製品を取り出します。

お願い

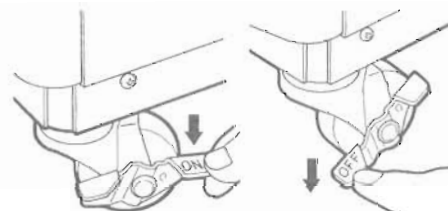
製品は重量がありますので、けがをしないよう必ず2人以上でおこなってください。

- 包装箱から全ての包装材を取り除き、製品に傷をつけないように取り出してください。
  同時に取扱説明書も取り出してください。
- 詳しくは、包装箱上面に表示してある「包装の内容」を参照してください。
- 包装箱や包装材は保管するときにご利用ください。

2 水平の確認をする。

- 本機は振動のない、水平でしっかりした床面に設置してください。
  本機が、傾いていないか、不安定な状態になっていないか、必ず確かめてください。
- 本機が傾いた状態で使用しますと、ドレン水があふれ出たり、振動音が出たり転倒しやすくなります。

3 キャスターのストッパーを「ON」にする。

- 設置位置を決めたら必ずストッパーを「ON」にして、
  本体を固定してください。
- 移動させるときはストッパーを「OFF」にしてから
  移動してください。

ストッパー「ON」　ストッパー「OFF」

注意

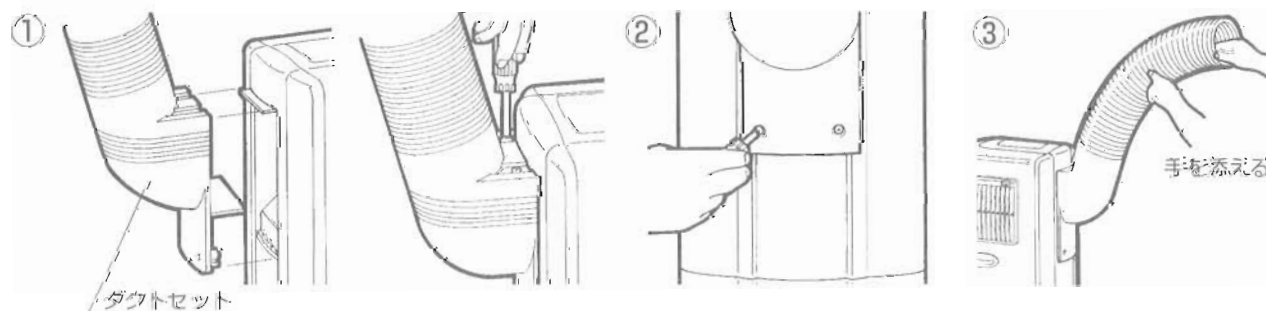
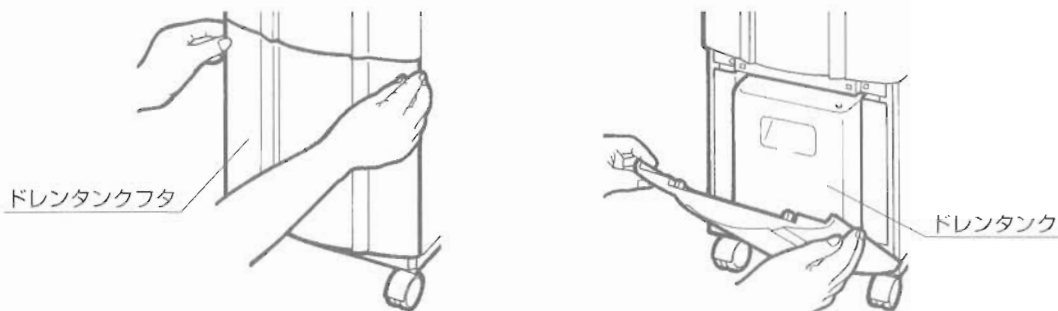
本機を移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンタンクの水を捨ててからおこなう。
水がこぼれて床や家財道具を濡らしたり、火災や感電や漏電の原因になります。

確認

4 ダクトセットを取り付ける。

★ダクトセットは必ず取り付けてください。故障の原因になります。

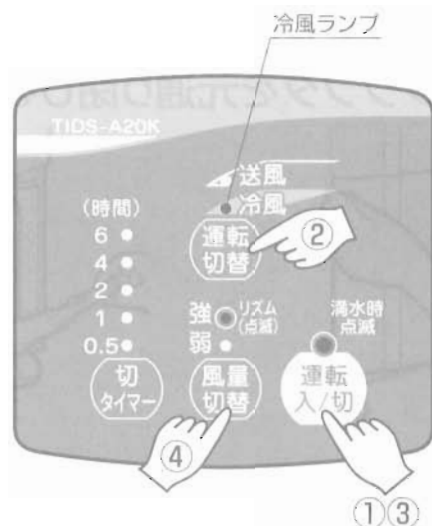
①同梱部品のダクトセットを本体にはめます。
②ダクトセットを付属品のねじ(4本)で上面部と正面部を固定します。
③お好みの角度にフレキシブルダクトを曲げます。

- ダクトを調整するときは、ダクトの根元に力がかからないように、必ず手を添えておこなってください。

5 ドレンタンクフタを開けてドレンタンクが正しく入っていることを確認した後、ドレンタンクフタを元通り閉じる。

6 電源プラグを家庭用交流100Vのコンセントに確実に差し込む。

●移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンタンクの水を捨ててからおこなってください。

★ダクトを持って、移動しないでください。
転倒や機器が破損する原因になります。

⚠警告		
	電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や発熱・火災の原因になります。	確認
	電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。 感電や発熱・火災の原因になります。	禁止
	屋内の壁コンセントで２口以上になっていても単独で使用する。 交流100V15A以上のコンセントか確認する。また、他の電気器具の電源プラグは同じコンセントに差し込み使用しない。 屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電、電源プラグの発熱の原因になります。	禁止
	電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物をのせたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしない。 電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。	禁止

⚠注意		
	電源は交流100Ｖ以外で使用しない。 100Ｖ以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。	指示
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。	禁止
	必ずアースを取る。 アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。 アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。	アース

1 運転のしかた

①運転ボタンを押して「入」にする

●「**運転ランプ**」が点灯して運転を開始します。

②運転切替ボタンを押して、運転を切り替える

●ボタンを押すたびに、運転が次のように切り替わります。
お好みの運転に合わせてください。

●運転の切り替えを「**運転状態ランプ**」が点灯して表示します。

③運転停止

●「**運転**」ボタンを押して停止させます。

●すべてのランプが消灯します。

★通常の「**冷風**」**運転**は、運転を開始して3分間は送風のみをおこない、3分経ってからコンプレッサーが起動して冷風運転をし、除湿します。

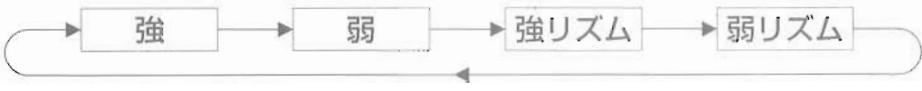
★室温が使用温度範囲外のときは、運転はしないでください。
機械の保護機能が働き、運転が停止します。
使用温度範囲は湿度により変わります。目安としてください。

使用温度範囲
15℃～45℃

★低温時には、内部の熱交換器の霜取り運転(間欠運転)をおこなうことがあります。
このとき、「**冷風ランプ**」が点滅します。(14ページを参照ください)

2 風量調節のしかた

④風量切替ボタンを押します

●「**冷風**」あるいは「**送風**」**運転**中にボタンを押すと、押すたびに風量が次のように替わります。
お好みの風量に合わせてください。

●風量の切り替えを「**風量ランプ**」が点灯、リズム風は点滅して表示します。

強……………強風量で運転します。
弱……………風量をおさえ静かな運転をします。
強リズム……「強リズム」⇒強風量のＯＮ・ＯＦＦで運転
弱リズム……「弱リズム」⇒弱風量のＯＮ・ＯＦＦで運転

長時間、冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない。
特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。
体調悪化・健康障害の原因になります。

タイマー運転

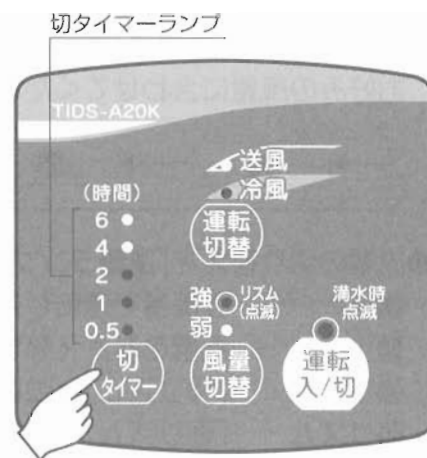
※本機のタイマー運転は、現在の運転状態を、ある時間後に停止させる(切タイマー)運転です。

切タイマー運転のしかた

切タイマーボタンを押します

●運転中に「切タイマー」ボタンを押して、タイマー時間を設定します。「切タイマー」ボタンを押すたびに
消灯→0.5→1→2→4→6
と各時間に順次切り替わり、「切タイマーランプ」が点灯します。

●セットした時間が経過すると運転が停止します。

●タイマーセットを解除する場合は、「切タイマー」ボタンを押して、「切タイマーランプ」を消灯にします。
連続運転に切り替わります。

切タイマーランプ	0.5	1	2	4	6
残り運転時間	0～30分	30分～1時間	1～2時間	2～4時間	4～6時間

このタイマーは、例えばタイマーセットをして「切タイマーランプ」の「6」を点灯させると、残り運転時間は6時間にセットされますが、残り運転時間が4時間から6時間の間は「切タイマーランプ」は「6」を点灯し続けます。

低温時の使用上のお願い

本機は、室温が約15℃以下の場合、間欠運転する(コンプレッサーON・OFFする)ことがありますが、これは、内部の熱交換器の霜取り運転をおこなっているためですので異常ではありません。

また、低温高湿度の環境で長時間連続使用されますと、内部の熱交換器(蒸発器)の霜が取りきれなくなり、凍り付くことがあります。

ときどきエアーフィルターをはずして、熱交換器が凍っていないことを確認してください。
(うっすら白く霜が付いている程度は問題ありません。)
もし、凍り付いていましたら、運転を停止させてください。

ドレン水の処理のしかた

1 ドレンタンク（標準装備）を使用する場合

お願い

ドレンタンクの入れ方が悪いと、ドレンタンクフタが閉まらなかったり、ドレン水が漏れることがあります。ドレンタンクは本体に正しく入れてください。

- 「冷風」運転をしますと、ドレンタンクにドレン水が、溜まります。
- ドレンタンクに除湿されたドレン水が70～80%溜まりますと、運転が停止し、「運転ランプ」が点滅します。

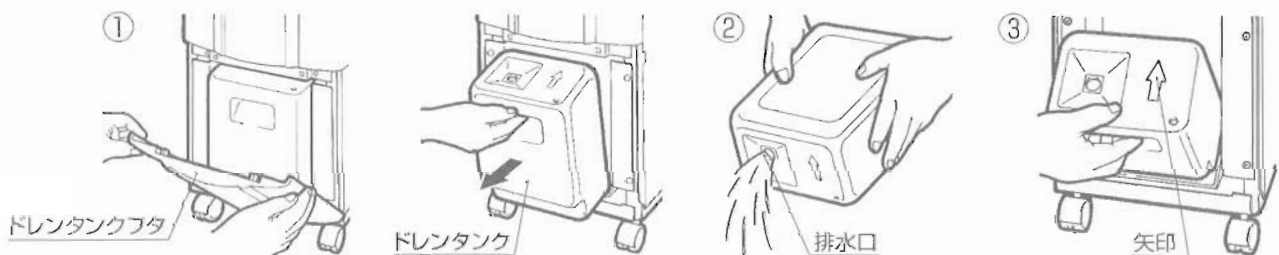
「運転ランプ」が点滅した場合は、ドレンタンクを取り出し、溜まった水を捨ててください。

① 本体のドレンタンクフタを開け、ドレンタンクを静かに引き出します。

② 排水口からドレン水を捨てます。

③ 排水後、ドレンタンクの前後を間違えないように、矢印に従って、止まるまで確実に入れます。

④ ドレンタンク扉を、元通りに閉めます。

⑤ 「運転ランプ」が点滅してから3分間待った後で、「運転」ボタンを押し、ランプの消灯を確認してから、再度「運転」ボタンを押してください。

2 連続排水する場合（市販のビニールホースを使用する場合）

お願い

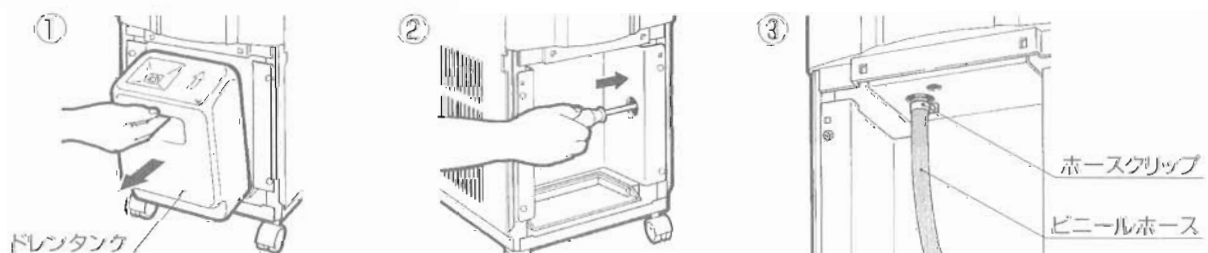
- 必ず手袋をはめておこなってください。
- 市販ホースとの接続部は、ホースクリップやテープ等を巻き、水漏れしないようにしてください。
- ホースを延長する場合は、途中で折れ曲がらないよう、また、ホース取り出し口の高さより高くならないようにしてください。

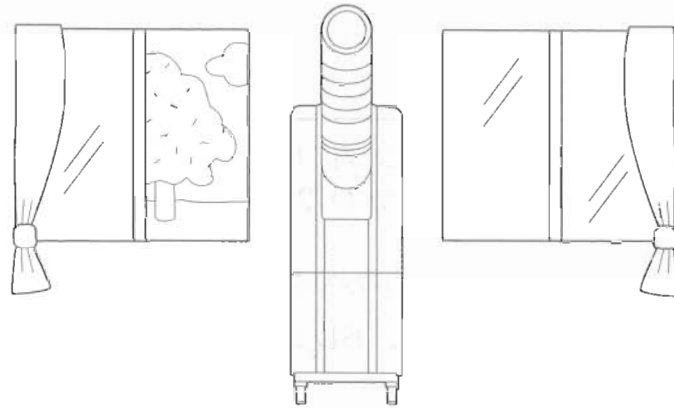
① ドレンタンクフタを開け、ドレンタンクを取り出します。

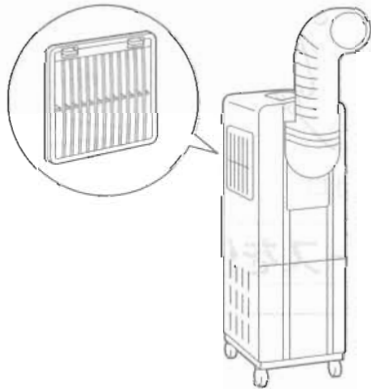
② 本体内側にある穴にドライバーなどを差し込み、少し力を入れて外側に真直について、本体側面にあるパイプカバーを取りはずします。

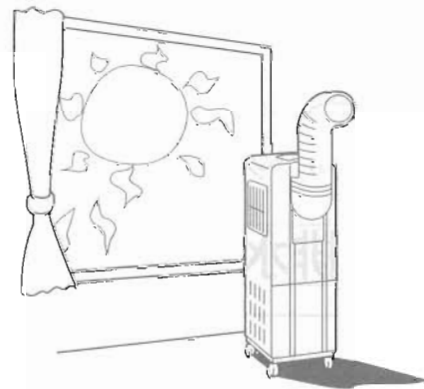
③ 本体内部のドレンパイプの先端に、市販のビニールホース（内径10㎜）を接続し、市販のホースクリップで固定します。

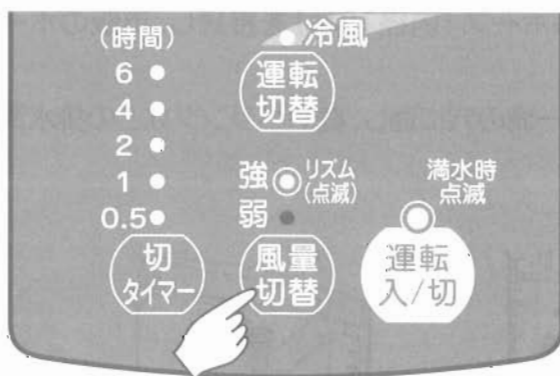
④ ビニールホースの先端を②項ではずしたパイプカバー側の穴に通し、庭やベランダなどの排水溝のある所に設置してください。

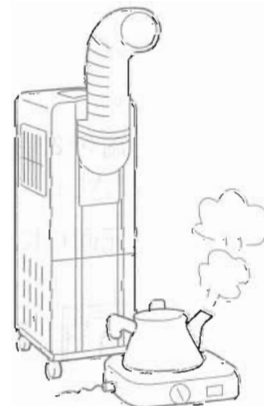
⑤ ドレンタンクフタを元通りに閉めます。

経済的で快適にお使いいただくために

排気の処理を適正に

■冷風運転時
排熱が逃げるように、窓を開けて使用してください。
■除湿運転時(「冷風」運転で除湿するとき)
窓や出入口を閉めて、湿気が侵入しないようにしてください。(室温は少し上昇します。)

エアーフィルターの掃除はこまめに

エアーフィルターの目づまりは、風量が減り、冷風効果を弱めます。2週間に1回は掃除をしましょう。(17ページ参照)

直射日光を入れない・当てない

直射日光をカーテンやブラインドでさえぎりましょう。

静かな運転をご希望のときは「弱」で

「風量切替」ボタンで「弱」にしてご使用ください。

熱の発生は少なく

室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。

お手入れの前に

⚠注意

●手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因となります。

電源プラグを抜く

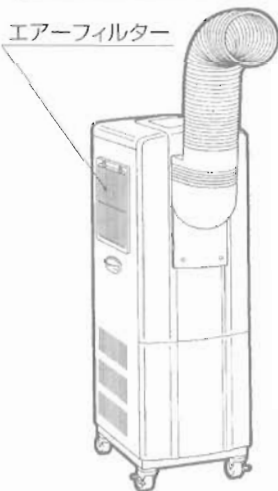
エアーフィルターの掃除

シーズン中は2週間に1回程度エアーフィルターを掃除してください。

お願い

●蒸発器・凝縮器のフィンで指を切らないように、必ず手袋をはめておこなってください。
●エアーフィルターをはずしたまま使用しないでください。
熱交換器が露出し、けがの原因になります。また、機械部にほこりが入り、故障の原因になります。

エアーフィルター

エアーフィルターにほこりが溜まりますと、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。次の要領で掃除してください。

掃除機で吸い取ります。

つまみを下に引き下げてから手前に引きます。

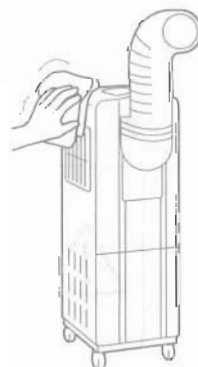
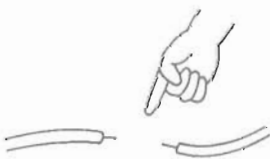
★強く引っ張らないでください。
★40℃以上のお湯で洗わないでください。エアーフィルターが縮むことがあります。

ユニット各部のお手入れ

⚠注意

水洗いしない。
ショート・感電のおそれがあります。

禁止

●やわらかい布で、からぶきしてください。
●特に汚れがひどい場合は、ぬるま湯でふきとってください。
■40℃以上のお湯は使わないでください。
プラスチックが変形することがあります。
■次のようなものは使わないでください。塗装面やプラスチックをいためます。
ベンジン・シンナー・みがき粉・塩素や酵素系洗剤など。
■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

長期間使用しない場合のお手入れ

●長期間使用しない場合は、ドレンタンク内の水は必ず抜いておいてください。

シーズン後には	シーズン前には
●ドレンタンクを掃除して、元通りに取り付けておいてください。 ●晴れた日に半日ほど**「送風」運転**をして、機器の内部を乾燥させてください。 ●電源プラグを、コンセントから抜いておいてください。 ●掃除をして汚れを落としてください。 ●エアーフィルターを掃除して、元通りに取り付けておいてください。 ●ダクトを取りはずし、本体の吹出口をビニールカバーなどでふさぎます。	●ドレンタンクが入っていること（連続排水の場合は排水ホースが接続されていること）を確認してください。 ●エアーフィルターが汚れていないか確認してください。

定期点検

半年～１年に一度、定期点検に次の点検をおこなってください。
もしご不審な点がありましたら、すぐお買い求めの販売店にご連絡ください。

コンセント		電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。（電源プラグとコンセントの間に“ゆるみ”がないことを確認してください。） 電源プラグ、コンセントにほこりや汚れが付着していませんか。１箇月に１～２回、電源プラグをコンセントから抜いて付着したほこりや汚れを掃除してください。
アース線		アース線がはずれていたり、途中で切れていたりしませんか。 アースを正しく取ってください。

点検整備

ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが、本機を数シーズン（2～3年）ご使用になりますと、内部が汚れて能力が低下することがありますので、通常のお手入れとは別に、点検整備をお勧めします。（本機を長持ちさせ、安心してご使用いただけます）

●点検整備には専門技術を必要とします。

⚠注意	市販の洗浄剤などを使用しない。 樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。	禁止

点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら 次のことをお調べください

まったく運転しない	停電ではありませんか。 ヒューズは切れていませんか。 	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 運転スイッチはON(入)になっていますか。 	運転ランプが点滅していませんか。 タンク内の水を捨ててください。 (15ページをご覧ください)
冷えが悪い	エアーフィルターや、熱交換器(凝縮器)が汚れていませんか。 (17ページをご覧ください)	お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか。 	吸込口や空気取入口·吹出口や排気口がふさがっていませんか。 ダクトが収納状態ではありませんか。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐお買い求めの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては裏表紙をご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤って内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱や、コードの被覆に破れがある。

これは故障ではありません

停止直後に再運転できない。	運転を停止後3分間は、再運転をストップして本機を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。(マイコンに組み込んである「3分間保護回路」が自動的に働き送風のみの運転となります。)
音がする。	運転中や停止直後に“シュー”という音がすることがあります。これは本機熱交換器中の溶媒液が流れる音です。
	運転の開始または停止時に“ピシピシ”と音がする場合がありますが、プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。
運転音が大きい。	本機を置く設置面が弱かったり、傾斜したりしていませんか。
	ドレンタンク、エアーフィルターなどが正しく取り付けてありますか。
においがする。	運転中に吹き出す風がにおうことがありますが、これは、本機や本機内部に付いたタバコや化粧品などのにおいです。

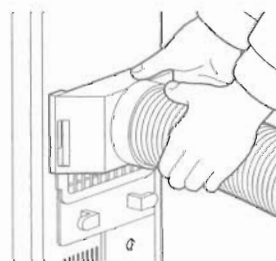
お願い

それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡のうえ修理をお申しつけください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●お申し出により 出張修理 いたします。

別売部品の使いかた

排熱ダクト

●運転時の排熱を室外に出す場合は、別売の排熱ダクト(TID2-SD)を使用してください。
★排熱ダクトを使用する場合は、冷風は「強」で使用してください。「弱」で使用した場合は効率が悪くなります。
★排熱ダクトは、必ずトヨトミ純正の排熱ダクトを使用してください。それ以外のダクトを使用すると、排熱効率が悪くなり、冷風が出なくなることがあります。
(排熱ダクトの長さは、全長1.2m以下としてください。)
★排熱ダクトは、改造しないでください。

[TID2-SD使用例]

仕　様

項目＼型式		TIDS-A20K	ドレンタンク容量		L	3.5
電　源		単相100V　50／60Hz	コード長さ		m	1.8
冷風能力	KW	1.8／2.0	外形寸法	高さ	mm	885（ダクトを除く）
消費電力	W	冷風 720／880		幅		290
風　量	m³/min	6.0／6.3		奥行		375
除湿量	L/日	31.0／37.0	質量		kg	27

ご注意 （1）／で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。
（2）冷風及び除湿特性は、室内空気条件35℃、相対湿度60％強運転の時の値です。

設計上の標準使用期間算定の根拠

【本製品の設計標準使用期間について】
本製品は、設計標準使用期間を10年と算定しており、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の〈設計標準使用期間算定の根拠〉参照）のもとで、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。**メーカー無償保証期間とは異なるもの**ですのでご注意ください。

【製造年】2009年
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

〈設計標準使用期間算定の根拠〉

項　目		条　件
環境条件	電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	室内温度	35℃（乾球温度）
	室内湿度	60％（湿球温度28.2℃）
	設置条件	標準設置

項　目		定格負荷
想定時間	1日あたりの使用時間	9時間/日
	1年間の使用時間	1008時間/年
	1年間あたりの標準使用日数	112日間

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●**保証期間はお買い求めの日から1年間です。**（ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

修理は、お買い求めの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 に相談する。
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

使用中に異常が生じたときは、直ちに運転を停止して電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　式…TIDS-A20K
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・電話番号

アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い求めの販売店か別紙の お客様相談窓口一覧 にお問い合わせください。

転居されるときは
ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型　式	TIDS-A20K	お買い求め年月日	年　月　日
お買い求め店名	（電話番号）（　　）　－		